

保育あきた

かわらばん
瓦版



VOL.63

題字 故 小畑 勇二郎 書(秋田県知事)

発行/令和5年8月22日 発行者/秋田県保育協議会 発行者 会長 大友 潤一 秋田市旭北栄町1-5 <https://www.akitakenho.jp/index.html>

『秋田県保育研究大会を終えて』 秋田県保育協議会 会長 大友 潤一



多くの意義が交わった 久しぶりの参集開催に

平素は当協議会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

去る、令和5年6月2日（金）鹿角市文化の杜交流館コモッセを会場に、第51回秋田県保育研究大会が開催されました。完全参集型の大会は、令和元年由利本荘大会以来4年ぶりとなりました。私が会長になってからは、コロナ感染症の影響で、通常通りの開催は初めてでした。あの素晴らしい会場で、緞帳が上がり、会員の皆さんの顔を拝見した瞬間は、鳥肌が立ちました。



少数の実行委で工夫し開催することができた
メイン会場 文化の杜交流館コモッセ 文化ホール

元々小心者ですので、緊張の度合いが最高潮となり、挨拶も基調報告も唇が渴いて大変だったことだけははっきりと覚えています。昨年につき、リハーサルなんぞしていなかったものだから、基調報告は時間が足りなくなり、後半はかなり端折って話してしまいました。聞いてくださった皆さんには、分かり難い内容になってしまい、この場を借りてお詫び申し上げます。分科会の発表はどの施設も素晴らしく、緊張

している中であれだけの発表をしてくださったことは、余程事前の準備と練習に時間を割いてくださったことが、容易に想像できました。本当にご難儀をおかけしました。ありがとうございました。選考委員会では悩みに悩むほど、どの施設も甲乙つけがたい内容でした。発表してくださった施設も、拝聴して学びを得た施設も、今後の保育に活かしていただければ幸いです。

鹿角地区の実行委員会、スタッフ、 そして参加者の皆様に感謝

当日は朝からの雨模様。駐車場で合羽を着て誘導してくださったスタッフの皆さん、ありがとうございました。前日入りしていたのですが、会場はすっかり準備が整っていました。前日よりずっと前から準備をしてくださった鹿角市の実行委員会の皆さん、ありがとうございました。研修部の皆さんも準備から当日の仕事までご難儀をおかけしました。そして、鹿角という街まで（正直、遠いよなあって思っていました）足を運び、大会に参加いただきました会員の皆さん、ありがとうございました。一日開催でしたが素敵な大会になったと思います。こういう形の大会もあるのかと、新たな発見をさせてくれた大会でもありました。

様々な課題がある研究大会ですが、鹿角がくれたヒントを今後の大会に活かして参りたいと思います。関わっていただいた多くの関係者の方々に、万感の思いで感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

『第51回保育研究大会 各担当者振り返り』

鹿角市 花輪さくら保育園
大会実行委員長 田中 真由美



コロナ感染症がまだまだ続く中、令和5年度の保育研究大会の実行委員会が立ち上がり、ズームでの開催を考えていました。しかし、大友会長の「4年ぶりの参集型の保育研究大会に向け、鹿角でできる保育研究大会の開催を」の言葉に励まされ、9園の実行委員でできる一日開催のコンパクトな保育研究大会になりました。交通の便が良くない鹿角ですが、282名の保育関係者の参加に嬉しく思いました。



コロナ禍にあっても子どもの主体性を大切にしたい保育の実現に向け各施設で取り組んできた発表を聞くことで、保育に対する気付きや振り返り、またこれで良かったのだと保育の質の向上につながる研究発表であったと思います。保育所・認定こども園が安心安全である場所であり、保護者と共に子どもの育ちを支えていく職員集団になるよう頑張っていこうと改めて感じた次第です。ご難儀をかけました発表園の皆様には心より感謝いたします。



記念講演の伊藤孝子氏の「心軽やかに笑顔の

花を咲かせよう」はポジティブ心理学による保育士が笑顔になれる、幸せになれるお話を聞かせていただきました。人間は欠けているところに目が向きがちであるため、良い所を探すポジティブアプローチをすることが子ども達を肯定的に捉える保育に通じていると感じました。また、就寝前にその日の出来事の良かった所を3つ書くことを一週間続けることで半年間は幸福度が高まり笑顔が増えて行くそうです。この笑顔子どもや保護者、同僚、家庭で繋がっていくように関わることが大事だと感じぜひ実践しようと思いました。笑顔あふれる伊藤先生の表情と話し方に、講演後の会場の参加者の笑顔がふんわりとしていたことが印象に残っています。



無事に、今回の保育研究大会を終えることができましたのは、鹿角地区実行委員の皆様をはじめ、当日一般参加の地区施設保育士の皆様の協力のお陰であったと思います。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

また、会場となった施設の関係職員の皆様、鹿角らしさを感じていただくために出店の協力をしていただいた行政、地域の方々に感謝いたします。最後に鹿角大会を成功させるためにサポートして頂いた秋田県保育協議会の皆様に感謝いたします。

発表担当となった当初、皆で取り組んでいる園内研究を発表に向けてまとめるということは自分の中で漠然としたもので、不安からのスタートとなりました。

湯沢市 幼保連携認定こども園
あおぞらこども園
保育士 木村 雅代



普段の保育の中で感じていた先生方の不安や悩み、課題等から取り組んできた研修。自分達の取り組みについて、より伝わりやすく分かりやすく表現するにはどうしたらよいか、事例や資料の構成等、まとめては消し、読み直しては消しを繰り返しました。先生方の指導や助言、感想をいただきながら、なんとか完成に至ったのも束の間、実際の発表に向けて不足していたこともあり、バタバタと取り掛かることになってしまったこともありました。大会当日まで、プレッシャーや緊張等もたくさん感じましたが、研修や保育で先生方と一生懸命に取り組んできたことが励みになり、発表直前までたくさん声をかけてもらい元気づけてもらえたおかげで、本番は安心して発表できたような気がします。

保育研究大会で発表するということが大変ではありましたが、研修や研究に対する考えや職員のつながり、スキルアップ等学ぶことが多く、本当に貴重な経験となりました。より充実した園生活につなげていきたいと思えます。

『第51回保育研究大会 各担当者振り返り』

仙北市 白岩小百合保育園
副園長 村田 信子



今年度発表園ということで、同じテーマで長い期間取り組み中「思いっきり遊ぶ子どもとはどんな姿か」ということから話し合いました。子ども達が「楽しかった」「もっとやりたい」と思えるために、どんな関わりをしていったら良いのか意見を出し合う中で、視点を捉えて話をする先生、意見を聞いて認めてくれる先生とそれぞれの良い所が見つかりました。それと同時に意見が偏ったり、委員任せになったりすることが多いことに気付かされました。一人一人、役割分担をすることで「自分たちの研修」と責任をもって取り組もうとするようになり、研修する方向性を決める良い機会となりました。

発表に向けて、自分たちが頑張ってきた「経過からの成果」をたくさん資料に載せたいと思いましたが、資料を見直す中で、何を伝えたいか視点を絞ることの大切さをたくさんの先生から指導していただきました。全職員で話し合い、まとめた研修を発表できて嬉しく思います。これからも、それぞれの良さを認め合いながら子ども達と共に成長していきたいと思いをします。

自園では「配慮を必要とする子どもの理解と保護者支援」について研究しました。近年気になる子どもが増え、子どもとその保護者への接し方や支援の在り方について、悩むことが多くなっています。そのことに着目し、職員間で話し合うことから始まった研究でした。互いの意見を伝え合って共通理解を図り、また他機関との連携を深めたことで、職員一人一人に多くの学びがありました。

由利本荘市 石沢保育園
保育士 佐藤 菜摘



この研究を通して、子どもの笑顔や成長こそが一番の保護者支援であることに気付きました。専門職だからと保育士の考えを押しつけるのではなく、今できることは何かを保護者と一緒に考えることを大切にしたいと思います。自園は利用定員20名の小さな保育園ですが、少人数の良さを最大限に活かし、多様な子どもに対する関わり方や接し方を今後も追求していきたいです。

「目指せ大分!!」の夢は叶いませんでしたが、より良い支援の在り方について学び、自分達の意識改善にもつながったこの研究は、意味のあるものだったと自信をもって言えます。コモッセの大きな舞台で発表できた経験は、大変貴重でありがたいものでした。これを糧に、これからも子どもと保護者一人一人に寄り添った支援を続けたいと思いをします。

男鹿市 男鹿市立北浦保育園
保育士 中田 沙織



『第51回秋田県保育研究大会』に発表者として参加させていただきました。

今回、「生き生きと遊ぶ子どもの育成を目指して～小規模の保育園における子どもの育ちを支えるための保育士の役割～」という研究テーマで発表をしましたが、この研究を始めた当初は小規模であることのデメリットばかりが気になり、「この状況をなんとかしなければ」と考え、話し合いをしていました。しかし、研究を進める中で、小規模だからこそできる保育がたくさんあることに気付きました。大人数の保育園では、一人一人に寄り添った保育というのはなかなか難しいかもしれません。小規模の保育園では、人数が少ない分、子ども一人一人に目を向ける時間が長く、一人一人に合わせた環境の構成や保育士の関わりなどができます。だからこそ、私たち保育士が担う役割は大きいということも分かりました。

今後も小規模の保育園の良さを活かし、子ども一人一人と丁寧に関わりながら、子どもが自分を発揮しながら生き生きと遊ぶために、私たちができることは何かを考え、保育をしていきたいと思いをします。また、今回の保育研究大会を通して私自身が様々なことを学び、成長することができたと思いをします。ありがとうございました。

『第51回保育研究大会 各担当者振り返り』

今回、初めて保育研究大会の発表者として参加しました。始めはどのように進めて、どのようにまとめていけばよいのか分から

秋田市 幼保連携型認定こども園
ナーサリーふじ
保育士 小畑 千里・浜田 優希



なかったのですが、職員みんなに協力してもらいながら進めることができました。研究を通して、今まで以上に子どもが主体的に遊べる環境について考えたり、職員一人一人の子どもの姿を捉える力を育んだり、自園の保育を見直すきっかけにもなりました。しかし、日々の業務の中で時間を見つけながら研究を進めていくことは難しく、思うように進まないこともありました。それでも、実際に研究したからこそ見えてきた課題にその後もどう取り組んでいけばよいのか、みんなで意見を出し合えたことは、保育の質の向上にもつながりました。

発表当日は、緊張感と限られた時間の中で分かりやすく伝える難しさはありましたが、他園の発表を聞いたり、助言をいただいたりと、とても良い経験になりました。研究は終わりましたが、今後も子どもに寄り添い子どもが主体となって遊ぶ環境について追及していきたいです。

祝 第66回 全国保育研究大会（大分大会）選出！

6月2日(金)鹿角市の文化の杜交流館コモッセ

横手市 雄物川保育園
保育士 恩田 美加子



において行われた第51回秋田県保育研究大会に参加しました。雄物川保育園として第7分科会「子育て文化を育む」を研究

テーマに設定したのは、民間移管し開園した本園にとって保育の社会化は、重点的な課題として当初から取り組んできたからです。しかし、研究を進めていく中で大きな壁となったのは、新型コロナウイルスの脅威でした。

初めは感染対策が職員の主な対話でしたが、「これまで通りのやり方ではいけないのではないか」と問い直すことにより、変革のタイミングが訪れました。保育園はあくまでも子どもの遊びや育ちを保障する場であることを職員間で共通認識をし、必要なことを精選し、改めて子どもの視点から丁寧に保育を考えていくようになりました。職員での話し合いを重ねるごとに、子どもの主体性をぐっと支えやすくなる実感がありました。余談ではありますが、パワーポイント作成時、写真選択をしていると、懐かしい写真や思い出がよみがえり、なかなか前に進まなくなることもありました。

今後も情報を発信し、地域と共に子どもの育ちを考えていく循環をつくり出していければと思っています。コロナ前の生活が戻ってきていますが、今回の学びを活かし、新しい時代の保育をワクワクしながら考えていきたいです。

令和5年度 第1回 常任委員会報告

令和5年6月5日(月)15:00～17:00 県社会福祉会館10階大会議室

【参加者】会長・副会長、各部長、中央関連委員、事務局

【会長挨拶】

一本化の総会を終え皆様に承認されたばかりですが、軽微な規約の手直しが露呈している次第です。ここで、軽微な規定の変更に関しては、正副で話しあった内容を常任委員会に諮り、協議員会で承認して頂き進めていく形にしたいと思っております。

また、10月には全私保連の北海道・東北ブロック研修会があります。講師は汐見先生を予定しておりますが、大会開催等について令和6年7月11日・12日に全保協の北海道・東北ブロック保育研究大会があります。どちらもどう大会を盛り上げていくかこれから検討していくことになり、後ほど日程を決めたいと思っております。他は次第にある協議内容に沿って常任委員会を進めてまいりたいと思っております。皆様のお力を借りながら滞りなく進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



【協議事項】

(1) 令和5年度各事業部計画について

- ・ 総務部 新たな会則・規約の情報発信及び内容検討、災害互助制度及び地域交流助成の活用の推進
- ・ 広報部 組織の動きが会員に伝わる広報誌「保育あきた」の発行及び速報版の配信
- ・ 研修部 第32次保育士研修会、保育カウンセリングセミナー、保育の質を高める研修会の実施
- ・ 研究大会部 令和6年度北海道・東北ブロック保育研究大会に向けて
- ・ 運営研究部 園長セミナーの開催及び公定価格の勉強会
- ・ 青年部 青年部研修会の企画及び運営
全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加
第44回全国青年保育者会議熊本大会（日保協）
第42回全国青年会議広島大会（全私保連）

(2) 顧問の委嘱について

これまで顧問だった人から辞退すると言われ
ない限り、顧問でいてもらうほうが良いのではない
か。

(3) その他

- ・ 保育の質を高める研修会等の参加申込は事務局で
行ってほしいので、Googleフォームについて青年部
に協力をいただく。
- ・ 子ども見守り協定 県内郵便局・秋田県警・県保
育協議会 三者協議はスタートラインに立ったば
かりのため、今後も会議を重ね情報発信していく。

災害互助・地域交流活用状況 (R5.8.17更新)

災害互助制度

- 傷害治療見舞金・・・12件
5級—2件 6級—2件 7級—1件
8級—2件 9級—5件
- 自然災害見舞金・・・2件
(7月 秋田県大雨災害・秋田市施設)
- 地域交流事業・・・5件

県保協HPから各申請書がダウンロードができます！
～詳細は総会資料かホームページをご覧ください～

災害互助制度について

会員園がお互いに助け合いの精神によって
災害互助制度を設け、保育活動の充実に寄与
することを目的としています。

園内外の保育活動中はもちろんのこと、園
児の登降園中や職員の通勤途中の事故に対し、
被災者にお見舞金を給付する制度です。

これからも皆さまにとって活用しやすい制度を
目指してまいります。お気づきの点がありまし
たら、事務局までお寄せください。

地域交流助成事業について

会員園同士が個々の活動を越え、2か所以
上の施設が連携して行う地域交流活動に対し
助成するものです。申請は事業開始1か月前
まで、報告は助成事業完了後2か月以内に本
会長あてに報告してください。（期限後も受
付可）皆様への周知・浸透を図っています。



行っている事業がありましたら、対象となるか確認してみ
てください。

部会報告(令和5年8月上旬までの活動)※発行時期により実施部会と予定が前後する場合があります。

総務部 【今年度計画】

- ① 新たな会則・規約の情報発信及び内容検討
- ② 災害互助制度及び地域交流助成事業の活用の推進
- ③ 予算の執行状況の把握、各部の活動に向けての支援
- ④ 総会開催の準備



総務部長 畠山 柳子
横手市 雄物川保育園 園長

【実施した部会】 第1回 日時：7月28日（金）13：30～17：00 場所：保育協議会会議室
内容：常任委員会報告、会則・災害互助規定・地域交流助成事業の
追加と変更、公立部会の会費

【今後の部会予定】

第2回 時期：11月～12月 内容：予算執行状況の確認等

【部からのメッセージ】

組織一本化となり、初めての合同部会が行われました。久々の集合型のせいか、大所帯になったような気がしました。一本化に向けて構築してきたということで、これまで同様に部長 畠山、副部長石田が選出となりました。よろしくお願いいたします。

4月の総会を終えスタートしたばかりですが、さっそく会則や地域交流事業の内容検討にはいります。今あるものが最終形ではなく、進化形ととらえ整備してまいりますので、皆様からのご意見等をお待ちしております。組織は新しくなりましたが、災害互助制度並びに地域交流助成の各種申請の利用状況が進んでおり、周知されてきたのかなと嬉しく思っております。県保育協議会のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

新しく園長先生になられた方々も増えているようです。組織体制や組織図をご覧ください。組織を是非知っていただきたいと思っております。

研 修 部 【今年度計画】

- ① 令和5年度 第32次保育士研修(6/27、7/21、10/3・6 計3回)の実施
- ② 第19回 保育の質を高める研修会(8/3)の実施
- ③ 第26回 保育カウンセリングセミナー(8/31)の実施
- ④ 令和5年度 全私保連 北海道・東北ブロック
保育研修会(10/12)への協力



研修部長 飯田 裕美子
秋田市 ウェルビューいずみ
こども園 園長

【実施した部会】

- 合同部会 日時：6月5日（月） 13：30～15：00 場所：秋田県社会福祉会館 大会議室
内容：部長・副部長選出と令和5年度活動計画について
- 第1回 日時：6月19日（月） 14：30～16：00 場所：保育協議会 会議室
内容：令和5年度活動計画、第32次保育士研修会、保育のすてっぷワン研修会について
- 第2回 日時：7月7日（金） 14：00～15：30 場所：WEB開催
内容：第32次保育士研修会(2回目)、
保育にかかわる人にとって大事なこと研修会について
- 第3回 時期：7月21日(金) 16：00～17：00
内容：第19回 保育の質を高める研修会(8/3)について

【今後の部会予定】

- 第4回 時期：8月22日（火） 10：00～ 内容：第26回 保育カウンセリングセミナー(8/31)
- 第5回 時期：9月中旬
内容：第32次保育士研修会(3回目)、北海道・東北ブロック保育研修会(10/12)について
- 第6回 時期：2月中旬 内容：今年度の振り返りと来年度に向けて

【部からのメッセージ】

役員改選となり新メンバーが加わりました。

保育現場で活かせる内容、保育者の資質向上につながる内容の研修の計画、実施をしております。今年で32年目となる第32次保育士研修会は、より多くの方に学びの機会を提供しようと今年度から「プラス参加者」枠を設けました。保育現場の課題や秋田県ならではの課題に有効な研修を計画・実施できるように努めてまいります。また、対面式での研修も再開しました。対面式のメリットとWEB開催のメリットを活かした開催方法を考え実施していきます。

今後とも皆様のご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

研究大会部 【今年度計画】

- ① 令和6年度北海道・東北ブロック保育研究大会発表に向けての準備

【実施した部会】

合同部会：日時：6月5日（月）13：30～15：00

内容：部長・副部長選出、令和5年度活動計画

【今後の部会予定】

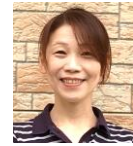
第1回 日時：9月4日（月）13：00～

内容：令和6年度北海道・東北ブロック保育研究大会発表について

【部からのメッセージ】

いつも大変お世話になっております。複数の組織が一本化になりました。皆様のたくさんの知恵、知識、情報をいただきながら活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

令和6年度の北海道・東北ブロック保育研究大会発表に向けて、準備を進めていきます。全てが初めてのことで不安もありますが、最後には笑顔で終われるように楽しみながら進められればと思います。



研究大会部長 田口 志織
秋田市 こぐま保育園
園長

運営研究部 【今年度の計画】

- ① 公定価格勉強会の開催
- ② 園長セミナーの開催
- ③ 人口減少地域における園運営についての研究の継続

【実施した部会】

合同部会 日 時：6月5日（月）13：30～15：00

場 所：秋田県社会福祉会館 10階 大会議室

内 容：部長、副部長選出、令和5年度事業推進、事業推進確認について

第1回 日 時：6月29日（木）13：00～15：00 場 所：WEB開催

内 容：令和5年度の活動、公定価格勉強会・園長セミナーの開催、研究について

第2回 日 時：8月4日（金）13：00～15：00 場 所：WEB開催

内 容：公定価格勉強会の開催、今後取り組むべき課題と内容等

【今後の部会予定】

第3回 時 期：9月上旬 内 容：公定価格勉強会 質問の取りまとめ

【部からのメッセージ】

秋田県保育協議会会員の皆様には、日頃よりご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

全国各地、秋田県内においても近年、人口減少に伴う少子化で園運営が非常に困難になっております。このような状況の中で様々な情報、または取り組みを聞き取り発信していくなど、少しでも会員園の皆様に役立つ研究、発信を考えております。

今期2年間、運営研究部として、今求められている課題の研究、研修を計画して行くにあたり、会員園の皆様には多くのご協力をいただく事になると思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。



運営研究部長 吉川 誠治
にかほ市
ひまわり保育園 園長

広 報 部 【今年度計画】

- ① 広報誌『保育あきた』の発行 ② 必要に応じた速報版の発行

【実施した部会】

○合同部会 日時：6月5日（月）13：30～15：00

内容：部長・副部長選出、令和5年度活動計画について

○第1回 日時：6月27日（火）13：30～16：00 内容：今年度の事業、広報誌『保育あきた』



広報部長 川嶋 博英
由利本荘市
子吉保育園 園長

○第2回 日時：7月24日（月）13：30～16：00

内容：『瓦版』原稿の確認 誤字脱字の修正等

○その他 HP業者「コンダクター」さんとの打ち合わせ、全私保連 署名運動の発送作業

【今後の部会予定】

第3回 日時：8月中旬 内容：瓦版の原稿 最終確認（ZOOMかメール）

【部からのメッセージ】

今年度から一本化され、それぞれの部が新体制となりました。

広報誌の『保育あきた』並びに速報版である『瓦版』を発行・発信するにあたり、様々な意見と知恵を出し合いながら、会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っており、まいります。今後とも広報活動へのご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

青年部 【今年度計画】

- ① 青年部研修会の企画および運営
- ② 他部との連携の推進
- ③ 青年部および県組織の魅力および情報の発信
- ④ 人材発掘および部員確保のための継続的な取り組み
- ⑤ 全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加



青年部長 伊藤 昌人
横手市 旭保育園 園長

【実施した部会】

合同部会 日時：6月5日（月）13：30～15：00 場所：秋田県社会福祉会館 10階 大会議室
内容：部長・副部長選出、令和5年度事業推進について

第1回 日時：6月23日（金）13：30～16：30 場所：保育協議室 会議室／WEB開催
内容：令和5年度の活動について等

第2回 日時：8月2日（水）13：30～16：30 場所：WEB開催
内容：青年部研修会、全国大会への参加について等

【今後の部会予定】

第3回 日時：8月下旬 内容：青年部研修会の企画・来年の北海道・東北ブロックについて等

【部からのメッセージ】

県組織の一本化初年度を迎え、部員一同新たな気持ちで組織活動に取り組んでいこうと思っております。青年部は他の部と違い「45歳まで」という年齢制限があるため、活動できる期間が限られています。組織活動を通して人脈を広げ、共通の課題などについて腹を割って協議・相談することができる経験は、きっと今後のご自身の糧になるものであると思います。

県民保協時代に発足した当時からのスローガンである「青年部らしさ」を体現するべく、魅力ある活動を通して会員の皆さまへ還元していくことができるよう、今年度も活動して参ります。

青年部の活動に対して、会員の皆様からのご理解・ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

【子どもの見守り三者協議 報告】 報告者：広報部 副部長 津村



皆様の賛同を得て調査・結果報告をいたしました秋田県警様・県内郵便局（日本郵便株式会社東北支社様）と当会との「子どもの見守り協定」協議はこれまで2回（5月30日・7月25日）開催しました。現状は、日本郵便様が取り組む各自治体との連携協定（不審者および車両・子ども・高齢者等の包括的な取り組み）があることを踏まえ、趣旨は理解するが協定締結は難しいという内部協議の回答を得ました。同時に秋田県警様から協定ではなく協議会という形はどうかという提案をいただき、その形であれば進めやすいという一致した見解のもと、今後、協議会の具体的活動を提案する3回目の協議を開催する予定です。



各施設・保護者様の声を無駄にしないよう、園児・保護者・職員にとって、安心安全の環境を実現するために引き続き活動してまいります。

秋田県保育協議会 役員名簿・組織相関図

秋田県保育協議会役員

(令和5・6年度)

顧問	岸 登 (湯沢乳児保育園) 伊藤彦舟 (えみの森) 今野真保 (明星こども園)
会長	大友潤一 (やまばと保育園)
副会長	阿部清美 (八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子 (轟保育園) 上村清正 (あおぞらなないろ園) 高橋大成 (沼館保育園) 岸 大助 (湯沢こども園) 吉田美智子 (毛馬内保育園) 田中力久 (城南保育園)
監事	藤井みはと (中央保育園) 利部葉子 (河辺保育所)

事務局	鈴木文子・矢作理紗 (保協/庶務・会計) 今野利歌子 (保育士会/庶務・会計)
-----	---

中央組織	全国保育協議会	顧問	岸 登 (湯沢乳児保育園)	
	協議員		大友潤一 (やまばと保育園) 民 吉田美智子 (毛馬内保育園) 公 田中力久 (城南保育園) 保育士会	
		全国私立保育連盟	支部長・財務部長	岸 大助 (湯沢こども園)
		顧問		伊藤彦舟 (えみの森)
	運動推進		大友潤一 (やまばと保育園)	
	調査部		津村侑弥 (明照保育園)	
	予対部長		高橋大成 (沼館保育園)	
	予対副部長		上村清正 (あおぞらなないろ園)	
	予対部員			高橋弘美 (浅舞感恩講保育園) 吉川誠治 (ひまわり保育園)
			青年部長	伊藤隆将 (ときわベビーハウス)
	青年副部長		今野真洋 (星城こども園)	
	日本保育協会		支部長	上村清吾 (あおぞらこども園) 幼保連携型認定こども園
			過疎地域 保育対策委員	九嶋洋子 (轟保育園)
		青年部長	伊藤昌人 (旭保育園)	
		青年副部長	吉川 壮 (日の出ベビー保育園)	
		女性部長	相場美佐子 (大野保育園)	
		女性副部長	猪股和子 (石沢保育園)	

秋田県保育協議会 常任委員

(令和5年度)

会 長	大友潤一 (やまばと保育園)
副 会 長	阿部清美 (八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子 (轟保育園) 上村清正 (あおぞらなないろ園) 高橋大成 (沼館保育園) 岸 大助 (湯沢こども園) 吉田美智子 (毛馬内保育園) 田中力久 (城南保育園)
総務部長	島山柳子 (雄物川保育園)
広報部長	川嶋博英 (子吉保育園)
研修部長	飯田裕美子 (フェリスこども園)
研究大会部長	田口志織 (こぐま保育園)
運営研究部長	吉川誠治 (ひまわり保育園)
青年部長	伊藤昌人 (旭保育園)
日本保育協会・支部長	上村清吾 (あおぞらこども園) 幼保連携型認定こども園
女性部長	相場美佐子 (大野保育園)
青年部長	伊藤昌人 (旭保育園)
全国私立保育連盟・支部長	岸 大助 (湯沢こども園)
予対部長	高橋大成 (沼館保育園)
青年部長	伊藤隆将 (ときわベビーハウス)

秋田県保育協議会協議員

会 長	大友潤一 (やまばと保育園)
副 会 長	阿部清美 (八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子 (轟保育園) 上村清正 (あおぞらなないろ園) 高橋大成 (沼館保育園) 岸 大助 (湯沢こども園) 吉田美智子 (毛馬内保育園) 田中力久 (城南保育園)
鹿角地区	島山睦子 (錦木保育園) 公立
北秋田地区	相馬千春 (前田保育園) 公立
山本地区	大塚 恵 (新代感恩講保育所) 民間
南秋田地区	浅野史子 (天王こども園) 公立
秋田市区	三條正弘 (サンパティオこども園) 民間
由利地区	猪股和子 (石沢保育園) 民間
仙北地区	吉川 壮 (日の出ベビー保育園) 民間
横手地区	遠山一栄 (みいりの保育園) 民間
湯沢地区	菊子 恵美 (あおぞらこども園) 民間

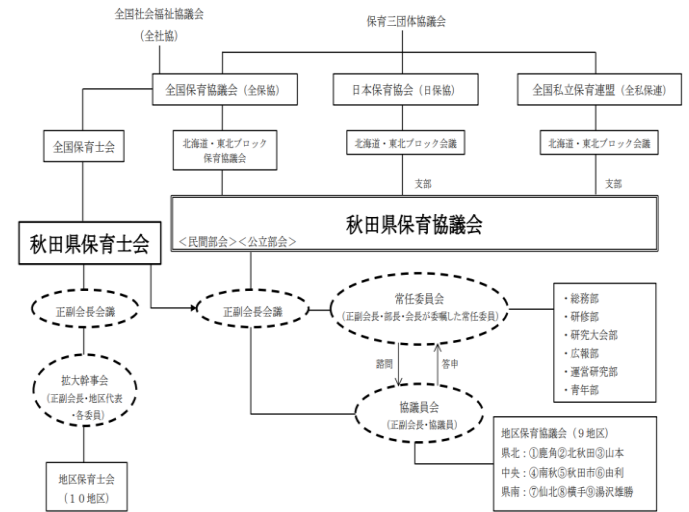
専門部員名簿

令和5・6年度

(注)◎は長、○は副

部会	主な活動	部 員
総務部 9名 《担当副会長・阿部清美》	★ 新たな会則(案)・規約(案)の情報発信及び内容検討 ★ 災害互助制度及び地域交流事業の活用 ★ 予算の実行状況の把握、各部会の活動に向けての支援 ★ 総会の準備	大坂江利子 (峰浜ボノコども園) 山田 橋子 (ほどの保育園) 笹村直子 (琴丘保育園) 藤原真智子 (若谷保育園) ○石田 義成 (白百合保育園) 佐藤 良子 (大曲南保育園) 菅原 雅文 (かんば認定こども園) ◎島山 柳子 (雄物川保育園)
広報部 10名 《担当副会長・岸 大助》	★ 広報誌の発行及び連絡版を配信 ★ 各部と連携を図り、必要に応じた情報提供	相馬千春 (前田保育園) 鈴木直子 (にこにこども園) 仲塚 鈴香 (臨本保育園) ◎津村 侑弥 (明照保育園) 大門ヒサ子 (こどものくに保育園) 南部 芳道 (金沢保育園) ○佐川 ひとみ (幼保連携型認定こども園) 西村 優子 (みたけこども園) ◎川嶋 博英 (子吉保育園)
研修部 10名 《担当副会長・九嶋洋子》	★ 第32次保育士研修会(年3回継続研修) ★ 第26回保育カウンセラーセミナー ★ 保育の質を高める研修会	○大澤美奈子 (第二ルンビニ園) 阿部 奈穂子 (協和まほろばこども園) ◎飯田裕美子 (フェリスこども園) 寺山 和子 (六郷わくわく園) 駒野谷 範子 (わかこま第一保育園) 戸部 珠枝 (下鍋倉保育所) 今まち子 (牛島ルンビニ園) 鈴木美和子 (にしもないこども園) 能元 こそえ (石橋西保育園)
研究大会部 11名 《担当副会長・吉田美智子》 《担当副会長・田中力久》	★ 第51回秋田県保育研究大会・鹿角大会 ★ 令和6年度北海道・東北ブロック保育研究大会	庄司 友美 (しゃろーむ) 恩田美加子 (雄物川保育園) ◎田口 志織 (こぐま保育園) 高橋 文子 (三重保育所) 平野 敬子 (寺内保育所) ◎大石久美子 (ますだ保育園) 村上麻里子 (ナーサリー小鳥の木) 鈴木 剛子 (たしろこども園) ○齋藤 奈緒美 (中央保育園)
運営研究部 7名 《担当副会長・高橋大成》	★ 園長セミナー1の開催 ★ テーマを設けての研究、および研究結果の公表	北嶋 雄介 (八潮海たいようこども園) ◎福田 恵嗣 (こひつじ保育園) 相場美佐子 (大野保育園) ◎吉川 誠治 (ひまわり保育園) 上村 清吾 (あおぞらこども園) 高橋 照子 (内小友保育園)
青年部 10名 《担当副会長・上村清正》	★ 青年部研修会の企画および運営 ★ 他部との連携の推進 ★ 青年部および関係組織の協力および情報の発信 ★ 人材発掘および職員確保のための継続的な取り組み ★ 全国組織の活動への参加	福田 恵嗣 (こひつじ保育園) 島山 尚宏 (明照保育園) 川嶋 博英 (子吉保育園) ◎伊藤 昌人 (旭保育園) 今野 真洋 (星城こども園) 奥山 浩太 (浅舞感恩講保育園) 吉川 壮 (日の出ベビー保育園) ◎伊藤 隆将 (ときわベビーハウス) 津村 侑弥 (明照保育園)

秋田県保育協議会組織図及び相関図



シン・秋田県保育協議会がスタートしました。課題が耐えない秋田県ではありますが、子ども達を一番初めに守り育てていく教育・保育施設として、私達にどんなことができるのか・・・。

大友会長の下、会員の皆様と一緒に考え行動する組織になっていけたらいいなと役員の端くれとして思っています。

新しいことって不安はありますが、ワクワク・ドキドキするもの。

子ども達と一緒に、色んなことにチャレンジしてまいります！

(Y.T)





発行担当広報部メンバー
 副会長：岸大助 部長：川嶋博英 副部長：佐川ひとみ 副部長：津村侑弥
 部員：相馬千春 鈴木直子 南部芳道 西村優子 中塚鈴香 大門ヒサ子

大雨災害により被災された会員施設様へ

令和5年7月豪雨により発生しました秋田県内の豪雨災害により、被災された施設の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

園児の教育・保育環境が1日も早く復旧されますことを祈念いたします。

令和5年8月21日

秋田県保育協議会 会長 大友 潤一

【全私保連推奨】各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「園賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。



えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。



しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

24時間のおケガ等からお守りすることに加え、自転車条例で義務化されている個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。



取扱代理店
有限会社ゼンポ
TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806



引受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款により、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用
無料



きつずノート

「きつずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格になりました！

ひと月あたり 5,000円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性があります。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、佐藤>